

発達障害のある子どもたちの 自立を支える

～告知を含む 自分を知ることの大切さ～

発達障害のある子どもたちの将来の自立に向けて、「自分を知ること」（客観的で、肯定的な自己評価、自己理解）は重要な課題です。発達障害のある子どもたちは、自分のことを客観的・肯定的にとらえることができずに、二次障害（自己肯定感の低下、極度の不安、不登校や引きこもり、問題行動など）で苦しんだり、進路決定や就労の際に壁にぶつかったりしてしまうことがあります。

今回は、それぞれの発達段階において自己理解を促し、深めていくために大切にしたい支援について、元・和歌山大学教育学部教授 小野 次朗先生からお話しいたします。

教育・医療機関・各支援機関、保護者の皆さんなど、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 11月18日(土) 13時～15時30分
(受付 12時30分～)

会場 御坊商工会館 4階 大会議室
(御坊市園350-28) *裏面案内図をご覧ください。

講師 おの じろう
小野 次朗 先生
(和歌山県発達障害者支援センター ポラリス 顧問)



- 対象 教育/保健/福祉/医療 等の関係者、保護者、一般の方（どなたでも）
- 定員 200名（会場はイス席となります）
- 主催 御坊・日高圏域自立支援協議会
子ども部会
日高地方特別支援教育研究会
- 後援 御坊南ロータリークラブ
- 協力団体 日高・御坊地域障害児者の生活支援をすすめる会
- 会場の関係で、保育はご用意できませんので、ご了承ください。
- 申込み方法
裏面の参加申込書をFAX、または同内容をメールで、御坊・日高圏域自立支援協議会事務局あてにお送りください。
*FAX：0738-23-2201
*メール：info@gobo-hidaka.com
申込み締め切りは11月8日(水)とさせていただきます。

おの じろう 小野 次朗 先生のご紹介

- ・小児神経科医
- ・和歌山県発達障害者支援センター ポラリス 顧問
- ・特別支援教育士スーパーバイザー
- ・日本LD学会 副理事長

発達障害のある子どもたちの医療と教育のかけ橋になりたいと、研究、病院での診察、日本LD学会副理事長など多方面で活躍されています。

* 著書（編著書）

「特別支援教育に生かす病弱児の生理・病理・心理」

「よくわかる発達障害 - LD・ADHD・高機能自閉・アスペルガー障害」

「発達障害事典(日本LD学会編)」

* 訳書

「自閉症/アスペルガー症候群 RD1 『対人関係発達指導法』 対人関係のパズルを解く発達支援プログラム」

「怒りのセルフコントロールー感情への気づきから効果的コミュニケーションスキルまで」